

第4回上山高等養護学校と山形盲学校の併置準備委員会【記録要旨】

- 1 日時 令和6年2月6日(火) 10:00～11:25
- 2 場所 県庁1502会議室
- 3 経過説明及び質疑

(1) 校舎改築の基本方針及び併置する学校の基本理念について

(これまでの説明)併置準備委員会の経過、校舎改築の基本方針、併置する学校の基本理念

<主な意見等>

- ・基本理念をまとめたものだが、2校の全ての施設設備が完成するのは、令和12年度(6年後)の予定である。基本理念の話合いから3年が経過し、完成はまだ先である。今後、社会状況の変化も考えられる。基本理念を繋いでいくことも大事であるが、6年後、児童生徒や学校の実情に合わせ、修正等があれば見直す柔軟さも必要であるとする。

(2) 施設整備計画(案)について

設計コンセプト(基本理念に基づく計画方針)

- ・2校の特性に配慮しながら、安全安心に学べる環境づくり
- ・2校の専門性や地域とのつながりを深め、併置校の良さを活かす学校づくり

<主な意見等>

- ・基本理念の実現に向け工夫された設計であり、基本理念が求めるところが盛り込まれている。
- ・幅広い年齢層に対応できる教育相談室や進路相談室等々が整備されており、「特別支援教育のセンター的機能を担う学校」という基本理念に沿った設計である。
- ・地域の方、地域の企業と関わりを深められるように、オープンで使用できるスペースが複数あることはよい。共有エリアに職業の部屋(喫茶サービス室)を設計することで、経験の幅が広がり、より働く力を身に付けられるとする。

(3) 通学路環境整備計画(案)について

- 1 目的 上山高等養護学校とかみのやま温泉駅間において、視覚障がい者に配慮した通学路を整備する。
- 2 経路 併置後、山形盲学校も上山高等養護学校の通学路と同じ経路を歩行する。(主な経路:上山高等養護学校→県道263号線→東宮新橋→かみのやま温泉駅東側市道→かみのやま温泉駅)
- 3 整備内容 経路上の横断歩道に道路横断帯、交差点に音響信号又は押しボタン式音響信号、適所に点字ブロック等を整備する。

<主な意見等>

- ・いろいろ配慮された通学路の整備になっている。
- ・自力で安全に歩行し、目的場所まで行けるような通学路環境整備である。児童生徒が歩行しやすいということは、高齢者も含め誰でも歩行しやすい環境であるとする。
- ・山形盲学校の児童生徒にとって移動距離(約1.7km)が長く、計画的な歩行トレーニングが必要であるとする。
- ・積雪時でも点字ブロックが活かせるよう、冬期間における歩道の除雪が徹底されるとよい。
- ・上山市営バスのバス停が、上山高等養護学校付近にある。上山市との連携を通して、より利用しやすいようにしてほしい。

(4) 2校併置校整備スケジュール(案)について

- 主な予定
- ・上山高等養護学校新校舎完成 (令和9年1月)
 - ・共用体育館、寄宿舎完成 (令和11年1月)
 - ・山形盲学校新校舎完成 (令和12年9月)
 - ・運動場、プール外構完成 (令和13年3月)

※予定は、令和6年2月現在の内容で、今後変更等が生じる場合がある。

<主な意見等>

- ・今後予定されている保護者地域説明会では、工事に関することに加え、地域との連携にも触れたり、不安なことなどを聞いたりすることで、よりよい説明会を開催できると考える。